

第460回 番組審議会

1. 日 時 平成22年12月21日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 12名
出席委員 10名

出席委員	副委員長	上野 克幸
	委員	森本 雅司
	委員	千葉 幸長
	委員	望月 善次
	委員	坂本 修
	委員	柴田 和子
	委員	池田 克典
	委員	吉江 信博
	委員	鈴木 正之
	委員	平 英一

欠席委員 2名

委員長	清野 雅子
委員	福田 泰司

社側出席者	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	淵沢 行則 (報道制作局長)
	遠藤 隆 (報道制作局次長)
	小野 絢子 (報道部)

事務局

山信田 寧 (編成技術局長)
畠 義真 (編成技術局編成部長)
平山 亜希子 (編成技術局編成部主任)

4. 議 題

1. 12月12日（日）深夜25：00～

NNNドキュメント '10

「がけっぷちナースの遺言～彼とがんと生きた日々～」

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

6. 議事の概要

委員側意見

- ・「看護師であるものの、がんになってはじめて患者の気持ちを理解できた」一日生涯というこ
とばに感じ入るその感性で人柄が理解できたし、重い状況のなかで前向きな発言が多かった。
生きようとする力の前に不可能はないという発言で梨香さんをよく理解できる形だった。
- ・臨場感があり山内梨香さんのブログ、映像、講演、出版と、短い人生を精一杯いきて「生きる
とは何か」をよく訴え、映し出されていた内容だった。
- ・乳がんにかぎらず、すべてのがんは早期発見というところをもう少し掘り下げてほしかった。
- ・がんに侵され再発しながらもせいっぱい、あかるく元気に生きる姿に心のもちかた、日々の
すごし方を考えさせられた。1日1日をしっかり生きる、自分で選んで濃く生きるということが番
組の最後まで貫かれていた。
- ・主人公の容態が急変し、付き添う夫、2人だけの世界にたとえ許可をいただいたにしても、そ
こまでカメラが入る必要があったのか疑問が残る。メディア側にもそっとしてあげるやさしさ、自
省が必要。
- ・番組としてはきれいにみられたが、抗がん剤治療の大変さ、苦しさや、抗がん剤があわなくな
っていったところがもう少しわかればいいなどおもいました。ピンクリボンの会の運動について、
力を尽くした人でもあるので、検診、早期発見、治療が大切なんだというところをもう少しはめ
込んでほしかった。
- ・前半から中盤、ナースの仕事とがんの治療というところが重なって映し出され、医療関係者と
いえどもがんに対しては1人の人間であるということが映し出されていたと思った。

テレビ岩手側意見

- ・主人公の高橋梨香さんが、病気を抱えていても自分がかんばっていることで勇気や元
気を与えたいという思いをつよくもっている方だったので、微力ながら世の中に伝える
お手伝いをしたいと取材を始めた。
- ・さまざまな要素のなかから病気のこととラブストーリーとその2本柱に絞り込んだ。
- ・ほかの局の番組との差異としては、梨香さんが亡くなってからの放送だったが、「梨香さんは
みんなのなかに生きているんだ」ということを強く訴えたかった。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成 22年12月28日(火)午前 11 時 45 分～11 時 52 分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開